

大規模データベースを用いた

低出生体重児分娩の原因検索に対するご協力のお願い

研究責任者	所属 <u>産婦人科</u> 職名 <u>教授</u>
	氏名 <u>田中 守</u>
	連絡先電話番号 <u>03-5363-3819</u>
実務責任者	所属 <u>産婦人科</u> 職名 <u>助教</u>
	氏名 <u>春日 義史</u>
	連絡先電話番号 <u>03-5363-3819</u>

このたび、日本産科婦人科学会データベース事業（周産期登録・生殖に関する諸登録・婦人科腫瘍登録）を用いた下記の医学系研究を、日本産科婦人科学会倫理委員会臨床研究審査小委員会の承認ならびに理事長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

1 対象となる方

西暦2013年1月1日より2017年12月31日までの間に、妊娠出産のため、日本産科婦人科学会周産期登録参加施設※に通院・入院し出産された方

※施設一覧：http://www.jsog.or.jp/public/shisetu_number/index.html を参照ください。

2 研究課題名

承認番号 20190220

研究課題名 大規模データベースを用いた低出生体重児分娩の原因検索

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部産婦人科学教室

4 本研究の意義、目的、方法

本邦では出生体重 2500g 未満である低出生体重児が増加しています。低出生体重児は将来的に生活習慣病や肥満を発症リスクが高いため、低出生体重児分娩の予防は我々産婦人科医にとって喫緊の課題ですが、その原因は未だ明らかではありません。

日本産科婦人科学会の周産期委員会では毎年、各登録施設より登録された妊娠分娩に関する患者情報および予後情報について収集解析しており、毎年各施設より集積された膨大なデータを

利用し統計学的に有意義な解析が可能となっています。しかし、低出生体重児分娩の詳細な検討はこれまでなされていませんでした。そこで、本研究の目的は本学会が集積している周産期登録データベースを利用して、本邦における低出生体重児分娩の原因を明らかにすることです。

5 協力をお願いする内容

すでに日本産科婦人科学会のデータベースに登録された匿名化された情報のみを使用しますので、患者さん個人の情報と紐付けられることはありません。また、新たに情報の収集は行いません。

6 本研究の実施期間

研究許可日～2023 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報すべてを削除し、第 3 者にはどなたのものか一切わからない形で日本産科婦人科学会から提供され、使用します。患者さんの情報と個人情報を連結させることはありません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また、本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合には、適切な措置を行います。その場合は診療のために受診された施設へご連絡ください。

実施責任者：春日義史

所属：慶應義塾大学医学部産婦人科

連絡先：

〒160-8582

東京都新宿区信濃町 35

03-5363-3819（産婦人科学教室直通）

公益社団法人 日本産科婦人科学会事務局

連絡先：

〒104-0031

東京都中央区京橋 3-6-18

03-5524-6900

以上